

その他事業一覧

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	近隣センター再生事業				事業番号	016-001
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	事業推進担当	

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	4. 人や企業を惹きつける都市魅力～Attractiveness～	施策 (4) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造		
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和			
		有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合				
	堺市SDGs 未来都市 計画	現状値	25.8% (2030年推計値)	目標値	26.8% (2030年度)			
2		施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット 11.3		
		有	取組	堺市都市計画マスター・プランに基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
3	関連計画	SEN BOKU New Design (本市策定)						
4	事業開始年度	平成 22 年度		点検対象年度	令和 8 年度			
事業の概要								
5	事業の実施主体	出先機関						
6	事業の対象	各近隣センター商店会・自治会（16地区）、事業者、その他関係者など				対象数 16		
7	事業の目的	泉北ニュータウンにおいて、日々の暮らしを支えている近隣センターを住区の特性に応じた賑わい創出と一体となった地域コミュニティの核として機能再編を行い、利便性の向上を図る。						
8	事業内容	1. 近隣センターの活性化 ①近隣センター活用支援事業 近隣センターの地権者等による活性化（まちづくり組織の立ち上げと計画策定等）を支援する。 まちづくり構想作成支援（10/10補助、上限1,000千円）⇒基本計画作成支援（10/10補助、 上限3,000千円）⇒事業計画作成支援（2/3補助、上限3,333千円） ②近隣センター関係者へのヒアリング、調整、専門家派遣、検討など ③近隣センターの活性化に向けた取組 オープンスペースの再整備、土地区画整理事業、キッチンカーや移動販売の誘致、地域コミュニティの活性化に つながる講座の開催支援など 2. 近隣センターの引継ぎ・維持管理など ①（公財）大阪府都市整備推進センターより近隣センター・オープンスペースを引継ぐ ②引継ぎ済み近隣センター・オープンスペースの維持管理及び施設更新						
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先	地元まちづくり組織						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
	近隣センターの活性化に向けた取組の実施件数	目標値	16	16	16	16
		実績値	11	12		
		達成率	69%	75%		
12	当該指標を選定した理由	近隣センターの商業機能やコミュニティ機能などを維持・促進するためには、時代の変化に対応し、地域特性や現状に応じた近隣センターの機能強化に向けた取組が求められるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	地域住民などと連携し、近隣センターの機能強化に向け取組を実施した件数（近隣センターの地区数（16地区）で延べ16件）				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
	近隣センター活性化に向けた地域住民・商業者等との意見交換実施地区数	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
		目標値	16	16	16	
		実績値	7	8		
		達成率	44%	50%		
12	当該指標を選定した理由	近隣センターの活性化には、地権者・商業者の協力及び理解が不可欠であり、そのための意見交換を着実に遂行することが重要であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	近隣センターの地区数（16地区） ※令和6年度までは近隣センターの引継ぎやハード整備に係る意見交換を対象としていたが、令和7年度からはソフト事業に関するものも含めた指標に変更している。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	近隣センター再生事業	事業番号	016-001
-------	------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	事業費 (a)	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求	
		国支出金	43,789	124,154	39,099	175,966	48,691
財源	府支出金						
内訳	市債			27,300	22,300		
	その他（繰入金）	12,670	86,374	14,799	175,218	36,700	
	受益者負担金（使用料、手数料等）						
	一般財源	31,119	10,480	2,000	748	11,991	

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		需用費（光熱水費）	R7	予算	1,427	0	役務費（手数料）	R7	予算	674	0
			R8	予算	1,400	0		R8	予算	670	0
		需用費（施設等修繕料）	R7	予算	6,000	0	工事請負費（施設等補修）	R7	予算	2,500	0
			R8	予算	6,000	0		R8	予算	2,500	0
		委託料（工事関連業務）	R7	予算	7,000	0	工事請負費（駐車場整備等）	R7	予算	2,500	0
			R8	予算	7,000	0		R8	予算	2,500	0
		委託料（樹木等管理）	R7	予算	24,654	0	負担金・補助金（区画整理関係）	R7	予算	119,500	0
			R8	予算	24,000	8,800		R8	予算	0	0
		委託料（施設等維持管理）	R7	予算	2,536	0	その他	R7	予算	9,175	748
			R8	予算	1,450	450		R8	予算	3,171	2,741

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	62,000
----	----	-------	-----	--------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・高倉台近隣センター土地区画整理事業、横塚台近隣センター再整備事業 ・近隣センターオープンスペースの引継ぎ及び再整備に向けたまちづくり構想等の取組に対する補助 ・近隣センターオープンスペースの維持管理のための下水管路施設清掃及び調査と水道施設等更新に向けた検討
	R8	・高倉台近隣センター土地区画整理事業の清算、オープンスペース利活用などの新たな取組の実施 ・近隣センターオープンスペースの維持管理と水道施設等更新に向けた検討、設計及び工事着手に向けた調整 ・近隣センター再整備に向けたまちづくり構想等の取組に対する補助
	R9以降	・近隣センターオープンスペースの維持管理と水道施設等の計画的な更新 ・近隣センターにおけるオープンスペースの引継ぎ、再整備に向けたまちづくり構想等の取組に対する補助

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	近隣センターにおける機能強化及び維持管理、オープンスペースの引継ぎ等にかかる費用を要求する。 主な要求内容は以下のとおり。
		1. 近隣センターの施設更新 水道管をはじめとする施設更新に向けた調査等の委託料及び負担金など 2. 近隣センターの維持管理及び引継ぎ 近隣センター内の樹木管理や日常清掃に係る委託料、施設維持に係る修繕費など

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計						要求区分	その他
	事務事業分類	A 一般事務事業					
事務事業名	泉北ニュータウン住宅供給・活用推進事業					事業番号	016-002
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	企画推進担当		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力～Attractiveness～	施策	(4) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造
			有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	現状値	25.8%（2030年推計値）	目標値	26.8%（2030年度）
			有	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
		寄与 する KPI	有・無	指標名	堺市都市計画マスター・プランに基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進		
		無	現状値	—	目標値	—	—
2	関連計画	SENBOKU New Design（本市策定）、IZUMIGAOKA Next Design（泉北ニューデザイン推進協議会策定）、泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画（同協議会策定）					
3	事業開始年度	平成 22 年度			点検対象年度	令和 12 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁							
6	事業の対象	泉北ニュータウンに関わる市民、事業者等			対象数	単位			
					約13万	人			
7	事業の目的	泉北ニュータウンの良好な住環境の形成及び住宅資源の循環を促進し、泉北ニュータウンへの若年層・子育て世代の誘引をめざす。							
8	事業内容	泉北ニューデザイン推進協議会が策定した「IZUMIGAOKA Next Design」「泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画」の実現に向け、同協議会構成団体と連携した事業を行う。 ・公的賃貸住宅の再編に伴い創出される活用地について、同協議会で策定した「活用地の活用コンセプト（テーマ）案」に基づき、各活用地への新規住宅や商業機能等の誘導に向けた事業スキーム案を検討する。 ・公的賃貸住宅等の既存ストック（空室、オープンスペース、集会所等の空きスペース）の活用が促進されるよう、協議会の場を活用した一元的な既存ストック活用の仕組みの構築について検討する。							
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先	泉北ニューデザイン推進協議会							
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	39歳以下人口比率（各年12月末）（社会情勢から減少は避けられないが、推計値より減少を抑える）	%	目標値	30.2	28.7	28.3	26.8
			実績値	29.0	28.7		
			達成率	96%	100%		
	当該指標を選定した理由	泉北ニュータウン外への転出超過が顕著に表れている39歳以下の世代を増加させ、バランスのよい年齢構成を実現するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	39歳以下の人口比率は年々減少し、令和12年の推計は25.8%になることが見込まれ、1%上回る26.8%を目標とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
				目標値	8	12	
	実績値	13	12				
達成率	163%	100%					
	当該指標を選定した理由	泉北ニューデザイン推進協議会において、構成員（堺市、大阪府、UR都市機構、府公社など）が連携し、協議・検討を行うことで、泉北ニュータウンの持続的発展に向けた取組が推進されるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	協議会及び幹事会を各2回ずつ、各ワーキンググループ（泉ヶ丘駅前地域活性化・魅力創造検討ワーキング、公的賃貸住宅等再生検討ワーキング）を各2回ずつ開催					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	泉北ニュータウン住宅供給・活用推進事業	事業番号	016-002
-------	---------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	835	835	2,335	835	835
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	内訳 その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	835	835	2,335	835	835

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算				R7	予算		
事業費内訳	負担金（泉北ニューデザイン推進協議会への負担金）	R7	予算	835	835		R7	予算		
		R8	予算	835	835		R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	泉北ニューデザイン推進協議会の開催、運営 (IZUMIGAOKA Next Designの策定、公的賃貸住宅既存ストックの利活用の検討、泉ヶ丘駅前地域活性化事業)
	R8	泉北ニューデザイン推進協議会の開催、運営 (IZUMIGAOKA Next Designの実現に向けた関係者間の協議、公的賃貸住宅既存ストック利活用の検討、泉ヶ丘駅前地域活性化事業)
	R9以降	泉北ニューデザイン推進協議会の開催、運営 (IZUMIGAOKA Next Designの実現に向けた関係者間の協議、公的賃貸住宅既存ストック利活用の検討、泉ヶ丘駅前地域活性化事業等)

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	○泉北ニューデザイン推進協議会事業 ・泉北ニュータウンの持続的発展に向け、堺市、大阪府、UR、府公社、南海電鉄等が連携し、協議・検討を進めため、各ワーキンググループを含めた泉北ニューデザイン推進協議会の開催及び運営を実施。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分	その他
事務事業名	泉北ニュータウン居住魅力向上事業			事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	事業番号	016-003

I. 基本情報

事業の位置付け								
		施策との関連	有・無	戦略	4. 人や企業を惹きつける都市魅力～Attractiveness～	施策 (4) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造		
		有	取組の方向性		④持続可能な地域をめざしたICTや社会資本の活用			
1	堺市基本計画2030	寄与するKPI	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合			
		有	現状値	25.8% (2030年推計値)	目標値	26.8% (2030年度)		
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット		
	堺市SDGs未来都市計画	有	取組	堺市都市計画マスターplanに基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	SEN BOKU New Design (本市策定)、IZUMIGAOKA Next Design (泉北ニューデザイン推進協議会策定)						
3	事業開始年度	平成 22 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	泉北ニュータウン外在住の若年層・子育て世代			対象数	単位		
					約3175万	人		
7	事業の目的	泉北ニュータウンの居住魅力の向上を図り、また泉北ニュータウンの魅力を広く発信することで、若年層・子育て世代を中心とした移住・定住の促進を図る。						
8	事業内容	①SEN BOKU Welcome Book発信業務 若年層・子育て世代に対してWebやSNSなどを活用したSEN BOKU Welcome Bookの効果的な発信に取り組み、同世代の泉北ニュータウンへの移住・定住につなげる。 ②南海電鉄と連携した泉北ニュータウンの居住魅力発信 南海電鉄が有する広告媒体（デジタルサイネージ、Webサイト等）を活用し、移住を検討している若年層・子育て世代に対し、リアル（イベントの開催等、デジタルサイネージ）とオンライン（LIVE配信やSNSによる発信、Webサイトの開設等）の両面を通じて、泉北ニュータウンの魅力的な住環境を発信する。 ③泉北ニュータウン魅力発信動画コンテスト 泉北ニュータウンが有する魅力を表現した動画作品を通してブランドの構築を進め、若年層・子育て世代の転入・定住につなげることを目的に実施する。コンテスト受賞作品は、市HPやSNSで効果的に発信する。 ④ふるさと回帰支援センターにおける情報発信 全国から人々が集まる首都圏の移住促進の拠点である「ふるさと回帰支援センター」を活用し、泉北ニュータウンの魅力を発信することで広域的な泉北ニュータウンの認知度向上を図る。 ⑤旧泉北すえむら資料館の活用 設置管理許可による魅力ある公園の活用。（図書館・カフェ等） ⑥泉北ニュータウン内の戸建て住宅への若年層・子育て世代の移住促進 泉北ニュータウン版マイホーム借上げ制度補助金を用いて泉北ニュータウン内の戸建て賃貸住宅への移住促進を図る。 ⑦旧高倉台西小学校跡地の活用 旧高倉台西小学校跡地のうち一部未利用となっている部分について、活用する事業者を公募に向けて調整する。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先	民間事業者、施設維持管理業者等						
10	公民連携・協働事業	各事業において、民間事業者の知見等を積極的に活用し、居住魅力の向上を図る。						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
			令和6年度	令和7年度				
11	39歳以下人口比率（各年12月末）（社会情勢から減少は避けられないが、推計値より減少を抑える）	% 目標値 30.2 実績値 29.0 達成率 96%	目標値	30.2	28.7	28.3	26.8	
			実績値	29.0	28.7			
			達成率	96%	100%			
	当該指標を選定した理由		泉北ニュータウン外への転出超過が顕著に表れている39歳以下の世代を増加させ、バランスのよい年齢構成を実現するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法		39歳以下の人口比率は年々減少し、令和12年の推計は25.8%になることが見込まれ、1%上回る26.8%を目標とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位 件 目標値 250,000 実績値 154,819 達成率 62%	実績	実績見込み	目標	目標 令和8年度 250,000		
			令和6年度	令和7年度	令和8年度			
			目標値	250,000	250,000			
	当該指標を選定した理由		若年層・子育て世代をターゲットとした泉北ニュータウンの情報を発信するホームページであり、PV数を目標とすることで同世代の泉北ニュータウンへの関心度を把握することができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法		これまでのPV数の傾向及び新コンテンツ増設等、発信情報の拡充を図るため。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	泉北ニュータウン居住魅力向上事業	事業番号	016-003
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位:千円)							
13 財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
		決算	決算	決算	予算	予算要求			
	事業費 (a)	8,544	20,888	16,083	48,806	35,026			
	国支出金								
	府支出金								
	市債				21,300				
	その他（繰入金、公園占用料）	2,491	4,458		2,423	6,423			
	受益者負担金（使用料、手数料等）								
	一般財源	6,053	16,430	16,083	25,083	28,603			
事業費の内訳		(単位:千円)							
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	
		R7	予算	306		R7	予算	3,750	
	報酬	R8	予算	459	459	R8	予算	3,750	
	役務費（手数料）	R7	予算	2,400	2,400	需用費（修繕料）（旧泉北すえむら資料館関係）	R7	予算	2,500
		R8	予算	3,200	3,200		R8	予算	4,000
	委託料（旧泉北すえむら資料館関係）	R7	予算	100	100	工事請負費（旧泉北すえむら資料館関係）	R7	予算	28,500
		R8	予算	400	400		R8	予算	4,000
	委託料（旧高倉台西小学校関係）	R7	予算	5,200	5,200	補助金（泉北ニュータウン版マイホーム借上げ制度補助金）	R7	予算	2,500
		R8	予算	11,800	11,800		R8	予算	2,500
	委託料（SENBOKU Welcome Book発信等）	R7	予算	3,100	3,100	その他（報償費、需用費、使用料及び賃借料、負担金等）	R7	予算	450
		R8	予算	4,000	4,000		R8	予算	917
債務負担行為		(単位:千円)							
15	期間	R ~ R		要求額					

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・SENBOKU Welcome Bookの活用及び南海電鉄と連携した魅力発信、泉北ニュータウン魅力発信動画コンテストに加え、さらに広域的に認知度向上を図るため首都圏にあるふるさと回帰支援センターでのプロモーションを実施し、若年層・子育て世代の泉北ニュータウンへの移住・定住を促進 ・新たな移住者の住まいの充実を図るため、戸建て中古住宅の循環を促進するためのマイホーム借上げ制度を創設 ・この他、大蓮公園では施設を適切に維持管理とともに市民活動を通じた魅力創出する。また、旧高倉台西小学校跡地の活用に向けた市場ニーズ調査等を実施
	R8	・SENBOKU Welcome Bookの活用及び南海電鉄と連携した魅力発信を行い、泉北ニュータウンが有する充実した子育て環境、自然豊かな住環境、都心へのアクセスの便利さなど、若年層・子育て世代に関心のある情報を発信 ・大蓮公園における施設維持管理 ・旧高倉台西小学校跡地の一部未利用地にかかる活用事業者を公募に向けて調整する。
	R9以降	・これまで実施した事業の効果を勘案し、既存ストックの利活用や市民活動の支援を通じて、若年層・子育て世代の誘引・定住促進に向けた効果的な居住魅力の発信施策を展開 ・大蓮公園における施設維持管理 ・事業者による旧高倉台西小学校跡地の活用

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	・転入希望者の閲覧頻度が高いサイト等へのバナー広告、若年層の利用者数が多いSNSの活用など、ターゲットを絞った効果的な発信に取り組む。 ・包括連携協定を締結している南海電鉄と連携し、泉北ニュータウンの魅力を発信する。 ・設置管理許可により大蓮公園の魅力向上を図り、施設の老朽化対策を実施する。 ・旧高倉台西小学校跡地の活用にあたり、活用地測量・分筆業務、試掘調査業務など、所要の手続きを進める。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計				要求区分	その他
事務事業名	ビッグバン管理運営事業			事務事業分類	E 指定管理者事業
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	事業番号	016-005

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力～Attractive～	施策	(4) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造
			有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続けることができる機能の充実		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	現状値	25.8%（2030年推計値）	目標値	26.8%（2030年度）
			有	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.7
		寄与 する KPI	有・無	取組	民間活力を活用した魅力的な公園の運営	—	—
2	関連計画	SEN BOKU New Design（本市策定）、IZUMIGAOKA Next Design（泉北ニューデザイン推進協議会策定）、ビッグバン及び泉ヶ丘公園基本計画（本市策定）					
3	事業開始年度	令和 3 年度		点検対象年度	令和 8 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法、都市公園法					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁（指定管理者 株式会社丹青社）					
6	事業の対象	堺市及び堺市近隣自治体の児童及び保護者等				対象数	単位
7	事業の目的	「IZUMIGAOKA Next Design（泉ヶ丘ネクストデザイン）」において、「こどもコア」として位置づけたビッグバン周辺エリアを「こどもが一日中楽しく遊び、学べ、親も楽しく子育てできる拠点」とすること。					
8	事業内容	①運営管理 指定管理者制度により、民間事業者が有するノウハウを最大限活用し、魅力的な施設運営・事業展開を実施。 ②大規模修繕、維持管理 施設の長寿命化を図ることを目的とした個別施設計画に基づく施設の計画的な維持管理。 ③ビッグバンと泉ヶ丘公園の一体的活用 ビッグバン及び泉ヶ丘公園の両者の強みを一体的に活かし、泉ヶ丘エリアに「新たな価値を創造」し、「子育て・子育ち、宇宙技術体験・発信、SDGs・歴史文化の教育の拠点」としてエリアを先導する役割を担うことで、こどもが未来への希望を抱くことができる運営をめざす。					
9	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先	指定管理者（株式会社丹青社）、工事・委託業務契約業者					
10	公民連携・協働事業	ビッグバンの運営管理において、地域住民等を主体とするボランティアスタッフが多数参加しているほか、大阪公立大学と連携したワークショップを実施					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定) ビッグバンの利用者数（入館者数）	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
		人	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000
		実績値		199,309	205,770		
		達成率		80%	82%		
	当該指標を選定した理由	入館者目標に対する実績によって達成状況を確認するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和 3 年度の入館者実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段) ビッグバンの開館日数	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
				目標値	312	312	
				実績値	298	301	
		達成率	96%	96%			
	当該指標を選定した理由	施設を開館することが端的に入館者の増加につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度の開館実績					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	ビッグバン管理運営事業	事業番号	016-005
-------	-------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位:千円)							
13	項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		決算	決算	決算	予算	予算要求			
財 源 内 訳	事業費 (a)	161,512		152,634	157,136	201,704	427,842		
	国支出金	0		0	0	0	0	0	
	府支出金	0		0	0	0	0	0	
	市債	0		0	81,200	49,000	227,200		
	その他（繰入金）	0		0	0	2,000	2,000		
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0	0	0	0		
一般財源		161,512		152,634	75,936	150,704	198,642		
事業費の内訳									
事 業 費 内 訳 14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目		事業費	
		R7	予算	104,940	104,940	需用費（消耗品費）	R7	1,101	1,101
	委託料（指定管理）	R8	予算	104,940	104,940		R8	0	0
		R7	予算	51,039	13,839	備品購入費	R7	10,771	10,771
	委託料（工事設計・監理・各種調査）	R8	予算	94,994	27,794		R8	0	0
		R7	予算	18,500	4,700	役務費（手数料）	R7	121	121
	工事請負費（ビッグバン）	R8	予算	219,450	57,450		R8	156	156
		R7	予算	65	65	報酬（指定管理者選定委員会）	R7	0	0
	需用費（印刷製本費）	R8	予算	149	149		R8	153	153
		R7	予算	15,167	15,167		R7	0	0
	需用費（修繕料）	R8	予算	8,000	8,000		R8	0	0
債務負担行為									
15	期間	R8～R9			要求額	115,820			

IV. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R7まで
	R8
	R9以降

- ・指定管理者制度によるビッグバンの運営
- ・ビッグバン展示改修
- ・ビッグバン個別施設設計画に基づく工事設計、施設の修繕・工事
- ・泉ヶ丘公園の整備開始（公園緑地部）
- ・指定管理者制度によるビッグバンの運営（～R8）
- ・ビッグバン指定管理者の選定
- ・ビッグバン展示改修（～R8）
- ・ビッグバン個別施設設計画に基づく工事設計、施設の修繕・工事
- ・泉ヶ丘公園の整備（公園緑地部）（～R9）
- ・ビッグバン指定管理開始（R9～）
- ・泉ヶ丘公園の開設（公園緑地部）（R9～）
- ・ビッグバン及び泉ヶ丘公園の一体活用開始（R9～）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>【ビッグバンの運営管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度による運営 ・「本物の宇宙」をテーマとした展示改修 ・入館者増に向けたソフト事業及びプロモーションの強化 ・施設の劣化状況及び個別施設設計画を踏まえた効果的かつ効率的な施設修繕 <p>【ビッグバン及び泉ヶ丘公園の一体活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグバン及び泉ヶ丘公園の一体活用に向けた里山保全啓発イベントの試行実施
----	---------	--